

令和6年度 自己評価

令和7年2月19日 本荘カトリックこども園

1. 今年度の園運営について

令和6年度は新園舎での教育・保育活動が2年目となり、前年度の経験と反省を踏まえて、より良い運営を行うことができるよう取り組んだ1年でした。5月中旬からは保育教諭1名が5月の中旬から産休・育休に入りましたが、7月中旬から新たに保育教諭1名が来ていただきました。3歳以上児、3歳未満児担当の保育教諭がそれぞれがチームとなって協力し、預かり保育・延長保育を含め、子どもたち一人ひとりを大切にする教育・保育を行うよう努めてまいりました。

また、用務職員1名が9月末で退職されましたが、新たな用務職員1名が来てくださり、とくに園舎の周りの環境をきれいに保つよう取り組んでいただきました。

このような中で過ごした一年でしたが、先に実施した保護者アンケート、そして教職員自己評価アンケートの結果を踏まえ、園としての令和6年度の評価をまとめました。

2. 個別の評価項目について

【A】 十分達成されている 【B】 達成されている

【C】 取り組まれているが、成果が十分ではない 【D】 取り組みが不十分である

評価項目	評価のポイント	結果
教育目標・保育	園の教育目標のもと、集団生活の中で一人ひとりの発達の過程や様々な姿を捉え、その状況を踏まえた援助や指導が行われていたか。また、発達の見通しや活動の予想に基づいて環境を構成していたか。	A
保険・安全・指導	子どもの発達の特徴を理解し、のびのびと行動できるように、職員が危険を取り除いたり、自らの力で安全に行動できる能力を身につけたりできるように健康及び安全に過ごすための取り組みが行われていたか。	A
園内研修・外部研修	子どもの発達の姿を捉えるための園内研修を定期的に行ったり、日々の子どもの姿について話し合う機会や外部研修で得た情報を職員間で共通理解するなどの教育保育の質の向上に努めていたか。	A
家庭・保護者との連携	保護者との情報交換の機会を設けたり、連絡帳を活用したりしながら日々の子どもの成長を伝え合い、家庭との連携を密にし、信頼関係を築くことができていたか。	A

評価項目	評価のポイント	結果
職員間の連携	定期的なカンファランスを行ったり、情報交換や意見交換などをしたり、保育者同士がコミュニケーションを取り合いながら連携した保育ができていると感じているか。	A
行事について	園の行事や活動、保育参観など、日々の園生活に配慮し、子どもが期待や意欲が持てるような行事内容であったか。また、子どもや保護者同士が交流する場になっていたか。	A
地域との連携	小中学生とのふれあい、寿荘訪問、職場体験など学校や地域の人達との交流を積極的に行っていたか。	B
子育て支援	園開放日、未就園児のコアラちゃん教室、預かり保育など、保護者のニーズにあった活動や支援ができていたか。	A

3. 園としての総合評価と、来年度に向けて

保護者アンケートの結果および教職員による自己評価の結果を考慮した結果、令和6年度の自己評価を右の通りとさせていただきました。

結果

A

新しい園舎での教育・保育の充実を目指す中、秋田カトリック学園では令和7年度から学園運営会議を設置します。同じ教育・保育理念のもとに歩んでいる学園内の幼稚園・認定こども園及びそれぞれの園の教職員と協力しながら、「ひとりひとりを大切に」という学園の理念を具現化すべく、これからも取り組んでまいります。

保護者との連携については、登園・降園時に多くの時間が取れないこともあり、日々の子どもたちの様子を教えてほしいというご意見がありました。保護者との連携をより深め、子どもたちの成長のために保護者とともにこれからも歩んでまいりたいと思います。

園行事等については、運動会や保護者参観の機会にたくさんの方がたに参加していただきました。中には緊張でうまく表現できなかつたり、泣き出したりする子どもたちもいましたが、少人数ながら協力して作りあげる園での楽しい生活を表現してくれました。

また地域との連携は、由利本荘警察署からのお誘いで、ハロウィンの季節に合わせて交通安全のキャンペーンで地域を回り、本荘郵便局からはクリスマスを楽しむイベントを提供していただいたことがローカルニュースで取り上げられ、よい思い出となりました。

今年度もご協力をいただきありがとうございました。来年度もよろしくお願ひします。